

現場で取り組んだ成果を発表

四国森林・林業研究発表会開催

一月二三日（木）局大会議室において、平成二五年度四国森林・林業研究発表会を開催しました。

今回で六一回目を迎えた発表会には、局署等一一課題、森林組合等から三課題、県立高校から二課題、研究機関等五課題、計二一課題について、各現場等で取り組まれた日頃の研究成果等が発表されました。

「会場では職員等が

積極的に質問」

今回は、各発表内容の充実はもとより、二ホンシカ等による食害対策に関する発表が五課題あり、本課題について局署等を含め、早急に取り組むべき課題であることを再認識しました。

また、聴講された各署等の職員が自署等の取組の現状と併せての質問が多く、外部からの聴講者にも好印象を与えていました。審査の結果、受賞課題等は裏面のとおりです。

局署等の皆さまには、次回（平成二六年度）の研究発表に向けて、日頃の業務等を踏まえ関係機関とも連携し、今からの取組をお願いします。発表者、聴講者の皆さま、おつかれ様でした。

研究発表会を終えて

スタッフのつぶやきから。

前日の会場準備、当日の進行にも、技術普及課だけでなく、他の課の応援も頂いたことに感謝。

受付、ロビーは寒かったが、発表者、多くの聴講者の来場でぬくもりを。

当日、発表に使用するパワーポイント操作は、演壇・フローア・パソコン持ち込みの3パターン。上手く作動に安堵。

発表時間、ほぼ時間内（12分）に。

発表の進行は、発表・質問も予定時間内に。会場内の照明の点灯・消灯のタイミングも、勘の良さを証明。

特別発表の聴講をもっと多くの職員にも聴いて欲しかった。（次回には是非とも）

編集後記

研究発表会が終わると、暦は二月に。

梅の花芽も膨らみ寒さの中にも、

確かに春の足音が。

受賞課題等は裏面に掲載



春の七草って



せり



なずな (ペンペン草)



ごぎょう
(ははこ草)



はこべら



ほとけのざ
(たびらこ)



すずな
(かぶ)



すずしろ
(だいこん)

平成25年度 四国森林・林業研究発表会 受賞課題

四国森林管理局局長賞（最優秀賞1課題、優秀賞3課題、奨励賞1課題）

日本森林技術協会理事長賞（1課題）

日本森林林業振興会会長賞（1課題）

（優秀賞は発表順）

受賞名	受賞課題	発表者	
		所属	氏名
最優秀賞	鳥獣被害対策に於けるくくりわなの改良・開発	三原村森林組合	大塚 真紀 小笠原 洋
優秀賞	徳島県版シャープシューティング実証試験についての報告	徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部 (阿南)環境担当課長補佐	森 一生
優秀賞	「H型架線集材システム」 ～急傾斜林地における効率的な集材システム～	株式会社とされいほく 業務課長 嶺北森林管理署 主任森林整備官	石垣 久志 森下 寿広
優秀賞	香北町観音堂の製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	池田 翔 江口 立晟 柏原 明典 熊谷 勇哉 西原 朋宏 笹岡 俊介 高島田裕也 谷口 公星 土居 大樹 西村 公希 松廣 周二 山崎 龍二
奨励賞	「四万十高校演習林の現状」	高知県立四万十高等学校 自然環境コース3年生	本山 和樹 沖 佳純
日本森林技術協会理事長賞	ツリーシェルターを用いた低コスト造林手法の効果と課題	住友林業フォレストサービス(株) 森林企画部	難波海南子
日本森林林業振興会会長賞	大正時代の治山事業調査	愛媛森林管理署 治山技術官	福田 薫